



みんなで子育て No.10

今年ならではの家庭教育学級が開催されています。

各務原市立鵜沼第一小学校 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

今年度コロナの影響で集まって行う研修ができないということで、PTA研修委員長さんは、例年行っていた「わが家の約束運動」に丁寧に取り組みと考えました。事前に他の学校での様子を県のHPの通信から学び、依頼文は、目的や内容を示し、手伝いだけでなく、親子の活動を取り入れるようにしました。強制はしないように配慮しつつ、3日以上は取り組んでほしいことを加えました。

事前

全児童配布

保護者様

令和2年8月25日

各務原市立鵜沼第一小学校

案内文

「話そう！語ろう！わが家の約束運動」の取組について

大層のね、皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は、本校のPTA活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、岐阜県では、子育て中の保護者が家庭教育を学ぶ機会や家庭内のコミュニケーションの充実を図る施策を行っています。「話そう！語ろう！わが家の約束運動」は、この一環として取り組まれています。
今年度は、新型コロナウイルスの影響下でも在宅で取り組める「話そう！語ろう！わが家の約束運動」を通して、家族のコミュニケーションをより深めて頂きたいと考えました。ご多用とは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 目的 「わが家の約束」について取り組んだり話し合ったりすることを通して、家庭内のコミュニケーションを深め、子どもの健やかな成長を目指す。
2. 期間 夏季休業中
(今年度は休みが短いので、取り組み日数は各家庭で設定してください)
3. 内容 ・「わが家の約束」を決めて、取り組みを実践カードに記録する。
・実践後、家族で互いの思いを伝えあう。
※詳細は別紙「話そう！語ろう！わが家の約束」運動ってなあに？をご覧ください
4. 提出 8月20日(木)～ 学級担任に提出してください

～重要～
ご提出いただいた実践カードから点数を選び、掲示物などを作成することをご承知ください。その際には、実名は伏せて掲載いたします。掲載をご承諾いただけなかった場合は、実践カード下部「掲載を承認しない」欄にチェックを入れてください。

実施

「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カード

わが家の約束を決めよう。

お母さんと15分、いっしょにピアノをひく。

月日	8/8	8/16	8/17	8/18	8/19	/	/
曜日	土	日	月	火	水		
約束を守りましたか	<input checked="" type="checkbox"/>						

○取り組んだ感想や家族への思いを書きましょう。○子どもへの励ましの言葉等をお願いします。

子どもから 家族へのメッセージ

好きな歌をピアノでひいて
うれしかった。たまに他の日も
ひきたいです。お母さん教えて
くれてありがとう。

保護者から 子どもへのメッセージ

毎日ピアノに上手にひけているので
うれしかっ。娘と連弾できるのが
お母さんの夢だったので、これからもう
一緒に挑戦してみようね！！

★学校で楽しかったことやがんばったことも家族に話しましょう。

- ・目的を示し、テーマを設けています。
- ・集めた後のまとめの方法についても方向性を示し、掲示の許諾のチェック欄があります。

※ 掲示物などへの掲載を承認しない

「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カード

年 組 名前

家庭教育を実践する日は、毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束

わが家の約束を決めよう。

月日	/	/	/	/	/	/	/
曜日							
約束を守りましたか							

○取り組んだ感想や家族への思いを書きましょう。○子どもへの励ましの言葉等をお願いします。

子どもから 家族へのメッセージ

家族から 子どもへのメッセージ

★学校で楽しかったことやがんばったことも家族に話しましょう。

- 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動ってなあに？
- ① 意欲で話し合っ「わが家の約束」を決定する
～どんな約束をするというの？(約束例)～
・親子で食事作り
・家族そろって「いただきます」をし、残さず食べる
・親子で家事を手伝い
(靴並べ、洗濯物干しやたたむ、掃除機をかける、風呂掃除、弟・妹のお世話、茶碗洗いなど)
・親子で一緒に体を動かす
・親子で一緒にみみきをする
・親子でテレビを消して一緒に読書をする
・親子で計算や漢字ドリルをする
・親子で楽器を演奏する(ピアノ、鍵盤ハーモニカ、リコーダーなど)
・挨拶をするときは、お互いの顔を見て大きな声でする
・親子で一緒に物を作ったり、絵を描いたりする
・一日一回、家族に「ありがとう」と伝える
※子どもだけの約束にならないような工夫があるとよいです！
例「お父さん、お母さんは〇〇するよ」「家族全員で〇〇しよう」等
 - ② 取り組みを実践カードに記録する
・「家庭教育を実践する日は、毎月第3日曜日と8のつく日」とありますが、今年度は夏休み期間も短いので、実施する日数は各家庭で設定してください。
・子どもを褒めたり励ましたりして、子どもの成長を応援しましょう
 - ③ 実践後、家族で互いの思いを伝えあう
・子ども→取り組んだ感想を家族に伝えます
・親 → 子どもの頑張りを認め励ますメッセージ
感謝やうれしかったこと、これから頑張ること等、プラスの方向性でのメッセージを伝えよう

- ① 記入の例示がテーマに合わせて示されています。
 - ② 実施の約束が書かれています。
 - ③ メッセージについてもどんな内容を入れるのか示されています。
- ★次ページにまとめの紹介を掲載しています。



岐阜県家庭教育支援条例
家庭教育の9項目のうち
今回の学びは😊の2項目

まとめのお知らせは全体の傾向を3つにまとめ、グラフ化し代表的な親子の言葉を学年部等ごとに選んでこれも3つに絞り載せています。回収した586通(全校608人)すべてを読んで絞り込む姿勢が素晴らしいですね。

1,2,3年生
全児童配布

令和2年9月吉日

保護者様

各務原市立鷺沼第一小学校
PTA会長
子育て広場長
研修委員長

「話そう! 語ろう! わが家の約束運動」の取組のお礼と報告

秋分の日、皆様には益々ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は、本校のPTA活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、この夏休みには「話そう! 語ろう! わが家の約束運動」の取組にご協力いただき、ありがとうございます。また、実践カードも大変多くのご家庭からご提出いただきました。深く感謝申し上げます。

ご家庭ごとに実践される姿が、お子さま、保護者様からのメッセージ等からほほえましく伝わり、感動しながら読ませていただきました。

この実践カードをもとに、取組の様子を以下のとおりまとめました。ご家庭で話題にいただければ幸いです。

① 家族と一緒に...

今年はコロナ禍で、外出がしにくい夏休みとなったためか「家族と一緒に何かをする」(運動、料理、食事など)実践が多くありました。その中で「家族の会話が増えた」という感想を多くいただきました。

② 子から親へ、親から子へ「ありがとう」

この取組を通して「家族と一緒に何かをする」ことの喜びを改めて感じていただけたように思いました。子どもは親と一緒に過ごす中で、親の姿に触れ「一緒に〇〇をしてくれて楽しかった、ありがとう」「家族のために何かしたい」と親や家族への感謝の思いが持てたようです。

また親から子どもに対しては「一緒に〇〇をしてくれてうれしかったよ、ありがとう」と感謝の気持ちを伝えるメッセージも大変多くありました。

「ありがとう」があふれる家庭、素敵ですね。

③ 継続

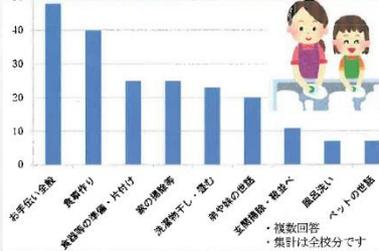
親子共に「取組が終わっても続けていきたいです」とのメッセージで締めくくられたものも多かったです。引き続き「同じ約束」、また「新たな約束」を通して、家族のコミュニケーションをより深めていただけたら幸いです。

※ 各ご家庭での実践についての報告(裏面)もあわせてご覧ください。

「話そう! 語ろう! わが家の約束運動」

各ご家庭での実践について(報告) 1,2,3学年版

「お手伝いを約束にした」



ご提出いただいた「実践カード」より
素敵なメッセージを紹介します

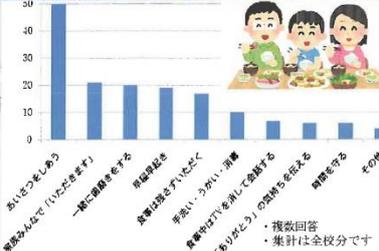
1年生 わが家の約束宣言
「おはようびおやすみの時間ソングをする」

この部分には代表的なメッセージを学年ごとに1つずつ載せてあります。1・2・3年、4・5・6年・特別支援学級版で変えています。それぞれ代表的な言葉を選んでいます。集計・グラフ化・感想コメントは大変な作業です。でも傾向がわかり、言葉も参考にしたい内容ですね。

「家族と一緒に活動することを約束にした」



「生活習慣に関わる約束をした」



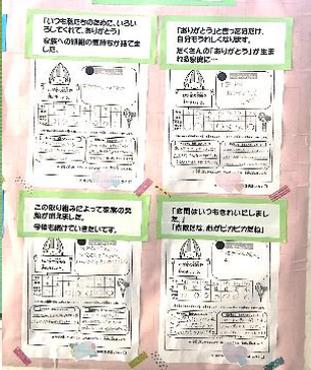
まだまだ素敵な実践とメッセージをたくさんいただきましたが、紙面の都合上、各学年一名ずつ紹介させていただきます。

今年度は、子育て広場の開設にも大きな制限があり、研修委員会として心苦しく思っておりましたが、今回、このように多くの方々にご協力をいただくことができました。研修委員一同感謝いたします。ありがとうございます。

「話そう! 語ろう! わが家の約束運動」



六年生



取組のまとめを3つに集約

すべてのカードを確認し内容を把握してその傾向の中にうれしい内容があったので紹介されたと聞きました。この活動の意図を明確にされていることがわかります。

- ① 家族と一緒に・・・(家族での実践)
- ② 子から親へ、親から子へ「ありがとう」
(という言葉が出る実践でした)
- ③ 継続(終わっても次につながる感想が多い)

コメント

この活動に対して、今年度の思いを入れ、願いのある案内を作成されています。その思いにこたえて9割以上の提出がありました。集まったものをすべて見て、傾向や分類を考え、3つにまとめた通信を作成されています。親子の言葉も載せてあります。また、学校の廊下には掲示が作成されています。カードは県のものを利用されていますが、後に掲示などの許諾チェック欄を設けています。案内や例示の工夫、まとめの内容も選んで絞りこみ、わかりやすくされています。県のHPを見て、方法を考えたという熱心な取り組みが素晴らしいですね。

各務原市立蘇原中学校 PTA記念講演会「中学校卒業後の進路選択に向けて」

10月21日(水) 講演会型

講師 岐阜県立各務原高等学校
校長 居波 裕 氏



毎年3年生とその保護者対象にPTA記念講演会として、生き方講話を行っていました。3年生の生徒が聞くとしたら、高校の校長先生のお話を聴きたいという願いから今回は3年生の進路説明会に合わせて実施されました。

1 高等学校の種類と内容(全国の高校の進学率は98.8%)

高等学校には全日制、定時制、通信制 単位制、科は普通科、専門科、総合学科等いろいろあります。各務原高等学校では普通科1年生の10月には次年度の文系・理系の選択を行います。つまり今から1年後にはどちらを選ぶのかが迫られます。高校にはどのような学習があるか調べておく必要があります。

2 高校卒業後の進路は

高等学校卒業しての進路としては、大学進学が53.6%と多く、就職は17.6%です。

○進路選択 ○○大学に行きたいという選択は？

大学は○○大学○○学部○○学科というようにあります。こういった学校を大学の名前だけで選ぶことはよくありません。大学は全国で789校(8割が私立) 学科は5,179。この中から選ぶためには、まず自分は何に向いているのか、何を学びたいのかを探り、何科を目指すのかを明確にしましょう。

3 岐阜県の動き

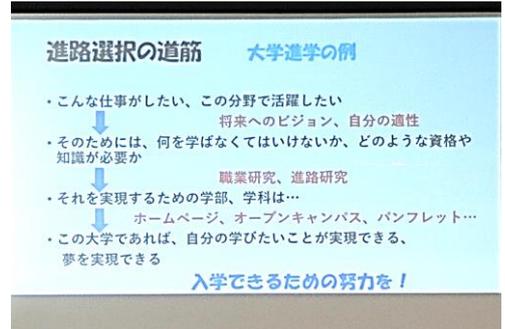
高校を卒業して就職したいのなら、専門科に行くことです。今は専門科に進学しても大学に進むことが多くあります。普通科で就職するのは厳しい状況です。高校を卒業したらどうするのか、自分のビジョン・ライフプランが必要です。部活動を期待して進学するには県からの冊子を読んで調べることも大事です。情報を得るための半日入学を利用してほしいです。高校の様子を知るにはHPを見ることも大事です。各務原高等学校でも動画を作成し公開しています。高校は黒板を廃止しホワイトボード、ICT機器：タブレット・プロジェクターが入ります。

4 蘇原中学校の皆さんに期待したいこと

- ・「集中力→読解力」勉強する目の前に漫画や音楽、ゲームがあっても集中できる？まず10分間の集中を目指そう。
- ・入試問題の傾向が変わってきています。入試制度が変わります。共通テストでは英語の長文ばかり、読む・聞くには集中力が必要。
- ・志があり、学習習慣が身につけていけば、どこの学校でもやっていきます。
- ・高校進学はゴールではない。→新たなスタート
- ・今日(10月21日)は420年前天下分け目の関ヶ原、人生のターニングポイントにしてほしい。

<参加した保護者の感想>

- ・子どもにとって今日がターニングポイントになってほしい。
- ・高校はゴールではないという話が心に残っている。
- ・高校を卒業したらどうするのか。
- ・集中10分を大事にしたい。多数
- ・子どもは自分が何に向いているのかわからない。家族で話し合う必要がある。
- ・自分が昔このような進路の学習をした経験がない。学校は、よくやってくれた。話すきっかけになります。



コメント

高校に入って気づくことや将来どう進むのかを詳しく、又、最近の高校生の動向を示していただきました。将来の学びについてはたくさんの選択肢があります。高校名や大学名にとらわれず、何になりたいのか、どんなことに向いているのかを第一に絞ること。また、何科を目指すのかを明確にして情報を得るといことが重要だと感じました。講演会の後の進路説明会がより重要な会になりました。体育館で親子が座り(隣の距離をとって)お話を聞く姿は、今後の進路選択に貴重な時間です。講演後に感想を聞きましたが、講演の内容を思い起こした素直な反応が多く、良いお話が聞けたと感じました。

委員長さんが願った講演内容で貴重なお話を聞かせていただきました。高校の校長先生のお話はめったに聞くことはできません。ありがとうございました。



岐阜県家庭教育支援条例
家庭教育の9項目のうち
今回の学びは😊の2項目

本巣市立本巣中学校 「PTAあいさつ・消毒ボランティアの募集」

10月24日(土) 体験学習型



OPTA活動の願い

「頑張る子どもたちを応援したい」・PTAの会員の皆様も、子どもたちと共に歩みたい」といった願いから「あいさつ活動」「校内消毒活動」について呼びかけ、参加者を募る活動を考え、それぞれ2回計画されました。

今回は毎日学校で行われているコロナ対策の消毒作業をボランティアとして計画された2回目(土曜授業終了生徒帰宅後)を取材しました。

○消毒ボランティア

PTA会長さんのあいさつの後、養護教諭からの説明です。4つの道具「エタノール、ペーパータオル、ゴミ袋、手袋」が入っています。エタノールをペーパータオルに吹きかけ消毒するドアの取っ手やスイッチなど生徒が触りそうな所を拭き、ゴミ袋へ、アルコールの苦手な人は手袋を着用しましょう。

2グループに分かれ、先ほど示された場所やロッカー・棚の上・配膳の机・トイレ、手洗いの水道の蛇口付近・窓の枠や鍵など丁寧にされています。30分ほどかけて行いました。

＜参加された保護者の感想＞(実施後交流の時間がありました)

- ・なかなか大変です。毎日先生方がやっているのはえらい。
- ・毎日やったださっているのは大変、中学生も危機管理、消毒の意識を高めるためにも一緒に行うのも方法ではないか
- ・窓や棚、手すり、手洗い場等広範囲で先生方が大変。
- ・先生方が大変な思いをされてやっていただいていることに感謝

校長先生から、最近サポートの職員もいること、子どもがするにも時間が少ないこと、感染予防の意識もあり掃除で頑張っていることなどのお話がありました。



PTA会員の皆様

案内文

令和2年度 PTAあいさつ・消毒ボランティアの募集について

盛夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校PTA活動並びに、新型コロナウイルス感染症拡大防止や熱中症予防のためにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

学校の通常登校が始まり、2ヶ月ほどが過ぎようとしています。子供たちは、コロナ禍にあっても、また、例年なら夏休みに入る暑い時期にもかかわらず、これまでと同様に、学習面・生活面において仲間と共に精一杯生活しています。

そこで、見出しの件につきまして、「頑張る子供たちを応援したい」「PTA会員の皆様も、子供たちと共に歩みたい」という願いから、会員の皆様のボランティアによる『あいさつ活動』『校内の消毒活動』を行いたいと考えています。つきましては、下記をご覧ください、ご都合のつく方ご賛同いただける皆様、是非、ご応募・ご参加ください。

記

1 PTAあいさつボランティア活動…2回

- 朝、生徒たちの登校を見守り、校門や生徒玄関付近で「あいさつ」を行います。
- 時間：朝7:40～8:10の30分間(7:35に生徒玄関に集合してください。)
- ・1回目…7月30日(木)
- ・2回目…9月23日(水)…青少年育成市民会議の皆様と一緒にいきます。

2 PTA消毒ボランティア活動…2回

- 放課後など、生徒たちがいない時間帯に教室内を消毒します。
 - 時間：それぞれ、時間帯が違いますので、下記をご覧ください。
 - ・1回目…8月18日(火)夏休みです。午前10:00～11:00の1時間。
 - ・2回目…10月24日(土)土曜授業です。授業後、午後2:00～3:00の1時間。
- ※下記により申し込み後、欠席される場合は、教頭までご連絡ください。

あいさつ運動について

本巣市は青少年育成市民会議であいさつ活動を毎月されています。青少年育成委員や民生児童委員も参加されています。PTAも入っていますが、ここでもボランティアの募集を行われています。保護者からは

「子どもたちはよく挨拶してくれます。さわやかな挨拶です。」との感想がありました。



コメント

PTAの本部役員の願いから生まれた活動です。今年環境で活動ができない単位PTAがある中、願いをもって子どものために行おうとする姿勢が尊いですね。

参加者は、「いつも子どものためにやっていただいているのでありがたいと思って参加しました」「今日時間があつたので参加しました」という方もいらっしゃいます。気持ちがある活動は子どもたちにも響きます。活動後、家庭でも話題となり、親子の関係づくりに役立ちます。PTA活動が家庭教育学級としての位置づけになると感じました。

岐阜県家庭教育支援条例
家庭教育の9項目のうち
今回の学びは😊の3項目



岐阜市立則武小学校 減災講演会「則武が水没！その時あなたのおうちは大丈夫？」

講師 岐阜大学 准教授 博士(工学) 小山 真紀 氏
(流域圏科学研究センター/清流の国ぎふ 防災・減災センター)

10月27日(火) 行事参加型・講演会型
オンラインによる各教室への配信



委員長さんがコロナ禍でも家庭教育学級としての学びを進めたいという願いで、学校の許可を得て講師の小山先生及び情報担当の教諭とオンライン(チームズ)での可能性を調整しました。家庭には、岐阜市総合防災読本(市から取り寄せて)と案内を配布し、子ども達に防災の学習を3年生以上で行うことを伝え、事前に親子で見るとを依頼しました。

○小山先生から本日のゴールは

- ・則武の水害を知る。
- ・自分の家の浸水危険度を確認する。

と示され、最初は1976年9月12日(9.12災害)の水害から、当時の写真と同じ場所等での、現在の写真を比べて見せて、水がどこまで来ていたかを紹介。子どもたちは、「あそこ知っている。」「トイレが沈んでいる。」等と身近な場所の浸水の様子に驚いていました。

次に、各自のipadで「ぎふの山と川の危険箇所マップ」から、郵便番号で自分の家付近の浸水状況を調べました。表示のランクで通常はL1(計画規模;数十年に1回起こる水害を設定)が表示されますが、設定をL2(最大想定:数百年に一度起こる水害を想定)に切り替えて見ることができます。

小山先生から進行状況を、各教室の先生方に確認し「地図は子どもたちは見ることができていますか?4年生は」「OKです」「3年生は?」「まだ準備できていません」「では待ちましょう」というように進んでいます。

●則武小学校はL1では0.5m~3mの浸水の可能性あり。

小山先生から1階部分の床上浸水及び1階が水没する状況です。2階以上の高さへの避難が必要、L2では3m~5mとなります。こうなると2階部分も浸水し、かなり高い場所への避難が必要となります。

ipadの使用は6年生は白川郷学園とのリモートや学習などで利用しているので、自分の家の周りの検索はスムーズです。どんどん使って慣れる必要があるようです。



コメント

委員長さんの願いで、時間をかけてオンラインでの実施ができました。事前に小山先生や学校等との連絡調整があり、保護者宛の文書が配布されていますが、各家庭での学習が成立するように、多くの準備がされていたと感じました。

小山先生からの則武の水害の記録の存在があることがこの教材を学ぶ意欲を高めていると感じました。今の場所と写真で比較することで、当時の被害の大きさを感じるとともに、水害が現実起こることを想起させています。学校・保護者・講師の連携が素晴らしい実践につながっていると感じました。今回の学習で、家に帰ってからのスマホやタブレット・PCによる確認で家族の学習が進みます。家庭と学校との連携で大きな学びの可能性が広がります。



家庭教育学級のご案内

令和2年10月27日

対象学年 保護者宛

則武小学校 PTA 会長 久世 益夫
則武小学校校長 松岡 泰
則武小学校 PTA 成人教育委員会 委員長 平岡 隆雄

第3回 減災講演会
~ 則武が水没! その時あなたのおうちは大丈夫? ~

日時場所 : 令和2年10月27日(火)
対象学年の各教室にて(6時間目の授業)
※視聴時間期間中のため午後2時開始

参加対象 : 3・4・5・6年生の児童

持 物 : 岐阜総合防災安心読本(黄色い冊子)
※事前に持ち寄り自宅で作ります

講 師 : 岐阜大学 准教授 博士(工学) 小山真紀氏
(流域圏科学研究センター/清流の国ぎふ 防災・減災センター)

・例年ですと保護者の皆さまにも聴講して頂けると。今年はコロナウイルス感染対策のため子供たちのみの参加とし、講師の先生には別添よりオンラインにて各教室へ内容を発信して頂きます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

・本年度よりおやじクラブから引継ぎ、成人教育委員会が「家庭教育学級」の一環として開催させていただきます。

保護者の皆様には日頃よりPTA活動にご理解とご協力頂きありがとうございます。長年被災に関する研究や地域活動に取り組みされておられる岐阜大学の小山真紀准教授による減災講演会の開催いたします。

皆さんは「災害ハザードマップ」をご存知でしょうか。自然災害が発生した際に、予想される被害や、被害が発生する危険性を示した地図になります。例えば、水害ハザードマップで自宅や周辺の被害の危険性を知ること、「いざ!」という時に自分がどのような行動をとれば良いのか、どこに避難するべきなのかをイメージして備えておくことができます。則武地区は過去に大きな水害に見舞われています。近年多発する想定外の災害、この則武地区でも大規模な水害が起きてもおかしくないと考えたいのが本意です。今回講演会で使用する資料「岐阜総合防災安心読本」を事前に配布させて頂きました。災害に備えるために、ぜひ一袋ご家庭内で話し合い、考えることに繋げて頂ければ幸いです。

ご多用中とは存じますが保護者の皆さまにもご協力いただき、子供たちと、また家族全体で一袋防災について考えて頂けるきっかけとなれば幸いです。

- ハザードマップで以下の2つを確認してみましょう**
- ① 直轄河川の位置を確認する
 - ② 自治体指定の浸水想定区域を確認する

※ハザードマップは配布資料の「岐阜総合防災安心読本」内に掲載されているハザードマップを確認していただくか、またはインターネットで「自治体ハザードマップ」と検索して調べることができます。市のQRコードよりスマートフォンやパソコンからも閲覧可能です。

是非各家庭内での防災対策にご活用ください!

- ① ハザードマップ ② 災害避難所と浸水想定区域
- ③ 自治体指定の浸水想定区域



※QRコードがうまく読み取れない場合は、お手持のスマートフォンで「岐阜総合防災安心読本」のハザードマップと検索してください。

岐阜市総合防災安心読本

行ってみよう! やってみよう! 確かめてみよう!
防災のまわし!

岐阜市総合防災安心読本



岐阜県家庭教育支援条例
家庭教育の9項目のうち
今回の学びは😊の3項目



3月から、コロナの影響で閉館、イベント中止でした。インターネットで「ユーチューブ 児童館」で検索すると、いろいろな事例があることがわかります。北方きた子ども館でも子どもたちやお母さんのために配信したいと考えていました。しかし、準備や資金も必要であることから、すでに研修会で使用されているZoomを利用しようと思いつきました。家で過ごしている人が気楽にできます。また、Zoomの利用は時間によっては有意義で、その時間内で活動を進めます。来館者に、ミーティングIDとパスワードを伝えます。パスワードは毎回変更されています。

○当日の活動

○時間前から紙芝居の枠とCDの音楽で始まりの合図
約束事の「ミュートの確認」は家庭での声が無漏れなようにとの配慮です。

○ちびっこルーム IN ZOOM 開始

- ・はじまるよ はじまるよ
- ・くるくるくるっ
- ・パン屋さんにお買い物
- ・まるまるアニマル
- ・バスの乗って
- ・どんぐりころころ
- ・次回のお知らせ
- ・さようなら

◎15分ばっちりでした。



◎目の前に子どもがいるかのような目線、言葉のかけ方が素晴らしいです。理由を聞くと子どもがいるとイメージして表現されているとのこと。

◎映像の枠が画面にきっちりと示されていて写りを意識して準備や調整がいいですね。事前の練習・準備がかなり行われています。

<参加した保護者の感想>2階の子育て支援センターで2組の親子が参加していました。

- ・楽しかった。Zoomは見やすいし、聞きやすい。
- ・Zoomは気楽にできる。実際には集まって遊ぶのが楽しいし、話せることが大事だけど、今は仕方がない。家にもコロナが気になって出られない人には大事。気にならない人は子ども館に来て、遊びながら、Zoomを見て踊っています。

○今後は11月から乳幼児クラブを再開します。

○3密対策として、シールドの作成(手作り)、消毒・マスク着用の明示、窓口にシート、人数制限がされています。

コメント

子どもたちのために何かできないかということで休館中に、いろいろ考え、小学校に遊びやクイズなどの紹介を手作りで作成し、プリントを配布するほどの熱意です。その意欲の表れが今回2回目になるZoom配信です。最初はかなり準備や練習をされてそのノウハウが活かされての今回です。表現のうまさや配信画面を予想してのカメラの位置等びっくりするほど見やすく聞きやすい状態でした。子どもが目の前にいる事をイメージしての動きはさすが保育士さんですね。できることを使って何ができるだろうといった工夫は、願いがあってできるものだと感じました。



入りやすい環境の北方きた子ども館

2階の子育て支援センター



北方きた子ども館の紹介

町の中の子ども館です。来年で40周年の歴史があります。隣に保育園があります。子育て支援センターの機能もあります。

当日は3家族が利用されていました。子どものために頑張ろうとする熱意も手伝って、コンパクトな中にも立ち寄りやすさがあり、ちょっと寄ってお話したくなる雰囲気がよいと感じました。



岐阜県家庭教育支援条例
家庭教育の9項目のうち
今回の学びは😊の2項目